

図書館だより



中央中学校図書館
第7号
令和4年12月12日

今年も残り少なくなりました。この1年間で何冊本を読みましたか。普段忙しい皆さんも、時間にゆとりがあるこの年末年始に、いつもと違ったジャンルの本にも手を伸ばして読んでみませんか。図書室ではたくさん本がみなさんを待っています。

冬休みの本の貸し出しのお知らせ



冬休みの本の貸し出しをします。冬休みにじっくり本を読んで楽しみましょう。

○本を借りられるのは、12月19日(月)～22日(木)の昼休み

○貸し出し冊数は、1人3冊まで

○返却日は、1月10日(火)～17日(火)です。

12月14日(水)までに借りた本は、12月22日(木)までに、返却してください。

お願い 返し忘れていた本はありませんか？



返却日が11月末までで、まだ返してない本がある人に、返却のお知らせの紙を渡します。紙をもらった人は、早く返却してください。

国語の教科書に出てくる古典作品を読もう！

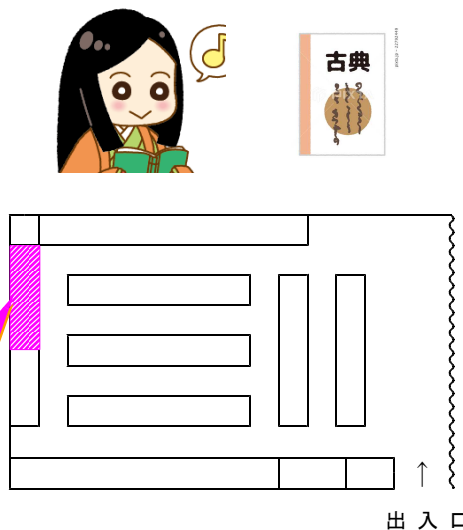
「竹取物語」「枕草子」「徒然草」「平家物語」「おくのほそ道」「論語」など、国語の授業で古典を学習しているこの時期に、ぜひ読んでみましょう。

イラスト入りのもの、現代語に訳したもの、分かりやすい解説があるもの、マンガになっているものなど、いろいろな出版社の本があります。別の古典作品の本もたくさんありますので、借りて読んでみてください。



古典の本棚の場所は、右図の通りです。

古典コーナーはここです。



新しく入った本の紹介



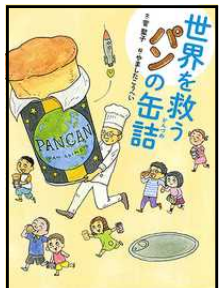
「ぼくの わたしの 著作権ずかん」



著作権は、表現をする人たち、つまり全ての人の権利を守るための法です。著作権を自分のこととして知ってもらうために、この図鑑では、もし著作権がなかったら世界はどうなっていたのかというところからスタートして、どうしたら作者になれるのか、著作権が守っているのはどんな権利なのか、ということマンガと図解で楽しく著作権を学んでいきます。また、著作権に関するさまざまな疑問を、学校編、社会編、インターネット編に分け、クイズ形式で知ることができます。インターネットやスマートフォンの普及により、小学生や中学生自身が、誰かの著作権を侵害してしまう可能性があると同時に、誰かに著作権を侵害される状況になっています。誰かの著作を利用する立場からだけでなく、自分が著作権の主体者として著作権の意義を学ぶことができます。

「世界を救うパンの缶詰」

防腐剤無添加で、3年間おいしさをそのまま保存でき、小さな子どもから歯の悪いお年寄りまで食べられる「パンの缶詰」。パン屋さんの秋元さんは、ゼロから研究をはじめ、缶詰を完成し、世間に広めます。さらに、この缶詰を使って、海外の飢餓地域を救う仕組みまで作りました。小さなパン屋さんが世界を救う、「奇跡の缶詰」物語。



「星空を届けたい 出張プラネタリウム、はじめました！」



科学館のプラネタリウムの仕事を通じて、多くの人に星や宇宙の魅力を伝えようと精力的に活動してきた高橋真理子さん。けれども娘の入院を機に、入院中の子どもたちや、外出できない人たちのことが気になりはじめます。やがて「科学館に来られない人に、星空を届けたい」という気持ちが大きくなり、科学館を辞めて、自分でプラネタリウムを持って小児病棟や被災地を投影を行う、新しい仕事をはじめました。全国で8000人が体験した、〈病院がプラネタリウム〉の誕生物語。

「世界に誇る 日本の世界遺産」全9巻

2016年に国立西洋美術館をはじめとした「ル・コルビュジェの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」、2017年に『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群、2018年に「長崎・天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され、日本の世界遺産は22件となりました。本シリーズでは、日本の世界遺産すべてを、現地取材で撮影した豊富な写真とわかりやすい文章で紹介し、日本の美と文化の特色を学ぶことができます。

